



あやべ協立診療所リニューアル完成

綾福構造転換事業

「地域包括ケア」の一翼を担い、医療と介護の連携で、誰もが安心して住み続けられる街づくりを目指して

あやべ協立診療所事務長 大久保猛

診療所の建物は30年以上経過し、老朽化で外壁が剥がれ危険な状態でした。そして、どう活用するかも課題で、綾部・福知山エリア構造転換事業の一環として、ふくちやま協立診療所の移転、京都協立病院の構造転換と経営改善とあわせて、あやべ協立診療所の方向性を検討してきました。

建て替えや郊外移転も考えられましたが、最終的に、立地条件を生かし綾部市内の活性化に役立ち、経営的には改築が妥当で、不要な階を取り除き耐震強化を図る全館リニューアルを実施することになりました。また、高齢化がすすむ綾部で将来的に何が必要かを検討し、これまでの訪問看護の実績を生かし、地域的にも求められ、病院との人事交流が展望できる複合型サービスを新規開設することにしました。

昨年7月に診療所は休診、介護事業所は仮設で事業を継続し、8月から本格的な工事に入り2015年3月25日完成・引き渡しを受けました。

3月31日の開所式・見学会には400名を超える参加者で、大賑わいとなり、地元新聞でも、行列ができるほど多くの市民が来場と様子が紹介されました。開所式は、綾部うたごえの仲間のオープニングではじまり、三浦次郎理事長と高木邦彦所長が挨拶。続いて、中丹東保健所の常盤和明所長、綾部市福祉保健部の四方裕之部長、中丹脳機能障害家族の会「さくら」の高橋宏会長から祝辞を受けました。こういった式典に、行政関係が参加されるのは初めてで、補助金が出たのも初めてです。長年にわたって、綾部で奮闘してきた民医連の実績が行政的にも

あやべ協立診療所エリアの事業所

1階	あやべ協立診療所 (外来医療・往診・労災・健診など)
2階	あやべ協立診療所通所介護 (デイサービス)
	あやべ協立診療所居宅介護支援 (ケアマネ) 在宅ケアステーションげんき (訪問看護・訪問介護)
3階	複合型サービスきょうりつ (通い・泊り・訪問介護・訪問看護)



受け入れられてきた結果でもあります。乾杯は、綾部健康友の会の山口昭雄会長の発声で祝茶を挙げ、今工事で大変お世話になった、一級建築事務所TAPROOTと松村組大阪本店に感謝状と記念品を渡しました。またあやべ協立診療所内の事業がなかなか知られていないこともあり、それぞれスタッフが事業紹介し、最後に高木邦彦所長と大槻美智代所長に激励の花束を贈り、大槻所長の決意表明で終了しました。

待ちに待った診療所がやっと完成し、4月1日より新しい建物で事業を再開しています。「困ったことがあればまず診療所へ」と地域に頼られ、あやべ診療所エリアがひとつとなつて、いろんな取り組みの拠点となれるよう初心に帰って奮闘していきます。